



府中市立府中第六中学校

令和8年3月19日第11号

# 六中だより

～学校教育目標～  
“学力と情操”  
“健康と忍耐力”  
“勤労と責任”

## 第五十九回卒業式 式辞

校庭の木々の梢に、春の訪れを感じるこの良き日に、卒業式を迎えた府中第六中学校の202名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生のみなさん、皆さんは、府中第六中学校の第59期生として学び舎を巣立っていきます。3年間の中学校生活、そして、9年間の義務教育を終えようとしている今、充実感や満足感とともに、これから踏み出す、次のステップへの期待や不安もあることでしょう。また、日々一緒に過ごしてきた仲間と別れ、この学校を去ることへの寂しさを感じている人もいます。

今から3年前、皆さんが府中第六中学校に入学してきた時、私も校長として本校に着任しました。ですから私も、皆さんとともに同じ3年間を過ごしてきました。そのことが、今の私にとっては非常に感慨深いものとなっています。皆さんが入学式を緊張した面持ちで迎えたように、私自身も緊張に包まれながら入学式を迎えたことを、今でもよく覚えています。

私が、3年生の皆さんの印象を一言で表すとすれば「温厚」という言葉が最もふさわしいと思います。「温厚」とは、穏やかで思いやりがあり、周囲の人に安心感を与えることを意味します。皆さんは、日々の学校生活の中で、友だちや先生の話にしっかりと耳を傾け、相手の立場を考えながら行動する姿を数多く見せてくれました。その温かな人柄は、学年全体の落ち着きとなり、学校全体を包み込む大きな力となっていました。

また、最上級生として、さまざまな場面で大いにリーダーシップを発揮し、学校全体を牽引してくれました。体育大会でのチームワークや力強く躍動した演技、合唱コンクールでの圧倒的で迫力ある歌声や美しいハーモニーなどを通して、府中第六中学校の伝統のバトンを下級生に立派に引き継いでくれました。学年やクラスのまとめ、そして努力の姿は、「素晴らしい」の一言に尽きます。

修学旅行では、班行動や宿舎生活においても、集団としての規律を守り、常に全体を考えた行動をしていたことに、私は大変感心しました。行程の締めくくりとなる3日目、新幹線に乗り、京都・奈良での多くの思い出を胸に帰路につくはずでしたが、台風の影響による、新幹線の運休や遅延により、京都駅で約4時間足止めをされるという予期せぬ出来事がありました。しかし、そのような状況の中でも、皆さんは楽しく話をしたり、言葉遊びゲームをしたり、時には昼寝をしたりしながら、落ち着いて新幹線を待ち続けていました。私も皆さんと話をしたり、言葉遊びゲームに参加させてもらったりしながら、楽しい時間を過ごすことができました。今となっては、あの時間も、ある意味で最も印象に残る思い出の一つとなっています。あの時、いくつものグループが私を仲間に入れてくれました。ありがとうございました。

心身ともに変化の大きい3年間だからこそ、皆さんは多くのことを学び、得ることができたのだと思います。これらの経験を生かし、明るい将来に向かって歩いてください。自分に誇りをもって、府中第六中学校を卒業してください。また、皆さんを支え続けてくれたご家族、そして地域の方々への感謝の気持ちを忘れることなく、さらに前へ進んでいってほしいと願っています。

これからの社会はグローバル化や多様化が進み、世界中の人々と協力して生きていくことが求められます。広い視野を持ちながら、自分の良さや個性をさらに伸ばし、将来の社会を支える人になってください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございませう。中学校での3年間は、お子様の成長を喜ぶ一方で、生活面や進路などについて心配事も多くあったことと思います。しかし、子どもたちは、さまざまな困難を乗り越え、立派に成長しました。これまでの3年間、本校の教育に対し、深いご理解と温かいご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆さんの前途が希望に満ち、今後ますます成長されることを祈念し、式辞といたします。

令和8年3月19日 府中市立府中第六中学校長 佐藤 光宏

### ◆3月の生活目標



### ◆不審者対応訓練

本校では警察の方々との連携し、不審者対応訓練を実施しました。訓練では、不審者が校内に侵入したという想定のもと、生徒の安全を最優先にした避難や教職員の対応について確認しました。警察のご指導のもと、教室ごとに静かに避難する練習や、教員によるさすまたの適切な使い方など、実践的な内容を交えながら行いました。訓練を通じて、万が一の事態に備える大切さを改めて実感するとともに、生徒たちも真剣な表情で取り組んでいました。



### ◆生徒会朝礼

今年度最後の生徒会朝礼では、各委員会からこの一年間の活動を振り返り、反省や成果について報告がありました。生徒たちは真剣に耳を傾け、次年度に向けて課題を共有する姿が印象的でした。

